

令和6年度（1学年用）

教科 理科

科目 化学基礎

教科 理科

科目 化学基礎

単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者 (1 組：亀山) (2 組：岡田) (3 組：亀山) (4 組：岡田) (5 組：亀山) (6 組：岡田)

使用教科書 (「新編 化学基礎」 東京書籍)

教科 理科

の目標

【知識・技能】理科における基礎的な知識を理解するとともに、基本的な実験技術を習得する。

【思考力・判断力・表現力】理科知識を活用して事象を論理的に考察する力、理科的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】日常生活と理科との関係を理解して、主体的に考察を深めたり、実験をしていく積極性を養う。

科目 化学基礎

の目標

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
化学における基礎的な知識を理解するとともに、基本的な化学実験技術を習得する。	化学知識を活用して事象を論理的に考察するす力、化学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。	日常生活と化学との関係を理解して、主体的に考察を深めたり、実験をしていく積極性を養う。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
1 学 期	物質の成分と構成元素	多種多様な物質を観察することによって、整理、分類し、共通した要素や、個々の相違点を調べることにより物質の成り立ちを追求する。	○	○	○	6
	物質の三態と原子の構造	物質は固体、液体、気体のいずれかの状態をとる。物質を構成する原子の構造を理解する。	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○	1
	電子配置と周期表	原子内での電子の収まり方を理解する。電子の収まり方と元素の性質の規則性を理解する。	○	○	○	7
	化学結合	イオン結合、共有結合、分子間力、金属結合について理解する。	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○	1
2 学 期	物質量と化学反応式	化学基礎の基本になる物質量について理解する。化学反応には化学反応式が作成できるようにする。化学反応式の量的関係について理解させる。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○	1
	酸と塩基	酸、塩基の定義や、酸性、塩基性の強さの表し方を学ぶ。PH、中和について理解させる。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○	1
3 学 期	酸化と還元	酸化、還元について学び、酸化数の増減など酸化、還元が説明できるようにする。	○	○	○	10
	酸化還元反応	酸化と還元が同時に起こる反応について理解を深める。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○	1